

会 議 録

1 会議名

令和7年度 第9回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的な審議（公開）

- ・自主的な審議事項について

3 開催日時

令和8年2月10日（火）午後6時30分から午後7時55分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第三会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委 員：池亀委員、市川委員、上野委員、太田副会長、折橋委員、崎田委員、
瀧本委員、田中会長、田邊委員、原委員、本多委員、山田委員、山谷委員、
吉田(実)委員、吉田(義)委員、渡部委員（欠席3名）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 井守所長、村山副所長、渡邊係長、鈴木主事

8 発言の内容（要旨）

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【田中会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・挨拶

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【田中会長】

- ・会議録の確認：山田委員に依頼

次第3 議題「(1) 自主的な審議」の「自主的な審議事項について」に入る。

前回の地域協議会では、正式なテーマ名称を決定した後、1つ目のテーマ「子どもたちが愛着を持てる春日～春日愛の継承～」について、グループで意見出しを行った。

本日は、2つ目のテーマの「誰もが誰かとつながっている春日～春日流儀～」の具体的な解決策について話し合いたい。

本日の進め方と今後のスケジュールについて、事務局へ説明を求める。

【渡邊係長】

- ・資料No.1 に基づき説明

【田中会長】

ただ今の説明について、質問はあるか。

(発言無し)

質問がないようなので、次に移る。

【渡邊係長】

次に、本日の話し合いについて説明する。

- ・資料No.2 に基づき説明

全てのグループが、同じテーマに取り組んでいただく。ファシリテーター、タイムキーパー、書記、発表等は事務局が担う。

【田中会長】

ただ今の説明について、質問はあるか。

【吉田(実)委員】

地域協議会は、この春日区で抱えている問題や課題への対策を検討していくべきだ。人とのつながりで考えれば、例えば町内会では役員の成り手がいない、老人会では活動の担い手がいなくなり、高齢化で会がなくなる。そういうことが直面している問題ではないのか。春日区の問題や課題を明確にして、それを解決するための対策を考えていくことが本来の活動ではないか。今は何をやってるのかよく分からない。

【渡邊係長】

分かりにくいところもあると思うが、ここが今期の春日区の優れた点である。今はまだ大丈夫でも、10年後、20年後、30年後の将来を見据えて、この課題が出ている。もし

かして、困っていない問題に対して取り組んでいるのではないかと不安になるかもしれないが、手遅れになる前に動こうとしている。例えば、前回行った「子どもたちが愛着を持てる春日」については、子どもたちが大人になる前の今からできる活動、将来に向けた取組に着手している。これは春日区ならではの視点であり、誇りを持って取り組んでいただければと思う。

【田中会長】

当初から、皆さんのご意見を尊重しながら進めてきた。今日話し合う資料No.2 テーマ②-Aのフレームワークにも、課題として、今までの協議内容が記載されている。例えば「除雪、災害対応が困難」についても、そうならないために、皆で協力し合うにはどうすべきか、その部分を協議している。解決すべき課題にピンポイントで取り組んできたわけではない。委員の皆さんは、経験と知識が豊富な方が多いので、進んでいく先で良い結果が得られると思う。吉田（実）委員には、今までの経験をいかして、私たちの分からない部分をフォローしていただきたい。

【吉田（義）委員】

テーマ②-Aで上げられた課題は、どの町内も抱えている問題だと思う。こういう問題は、町内会がそれぞれ対応していくのが本来の姿だが、町内会の役員も2年で交代するので知見もなく、成り手もない。だから、地域協議会委員が補佐役として、例えば春日地区28町内のいろいろな問題を抱えている町内会に対して、アドバイスや手助けをするという、一つの目的に向かう姿勢で進んでいると思っていた。だから今、町内会が抱えている問題をここにいる人たちは共通して認識していると思う。それを地域協議会でどのように解決に向けて進めていくか。例えば、空き家や高齢者のみ世帯の増加について、実態がどうなのか、ここにいる委員はどう把握し、問題視しているのか。表面的には「空き家があって家が壊れたら大変だ」、「高齢者のみ世帯で災害があったらどうするのか」というが実態が分からない。そんな情報もない中で、どのように話し合いを進めるのか。それが分かるよう、町内会長に聞くのではなく、ある程度個人的に、例えば自分の町内には住居が何軒あり、どのような問題があるのか、それについて地域協議会委員が、この地域はどういう状態なのか、それをどのように結び付けるのか。もっと身近な問題に取り組むような会議の進め方をしなければならない。抽象的な問題でなく、問題を明確にし、取り組んでいくよう進めてもらいたい。

【渡邊係長】

今ここにあるのは委員が考える仮説の課題であり、町内会など関係団体にまだ確認していない。今後、関係団体との協議調整が必要になる。

具体的な協議をしたいという点は、先ほどの吉田(実)委員と同じ意見だと思うが、資料No.2にある「課題の設定」、「原因(問題)分析」について協議したときに、その原因については、具体的な身近にある話が発端となっている。それを皆さんで協議し、「コミュニティの維持が大事。助け合いをするためのコミュニティを維持していかないとそもそも取り組めない。」という結論に、皆さんで昇華されたものと理解している。将来を見据えた高齢化対策や、役員の成り手の確保など、春日区も今後の人口減少を見据えれば、今、人とつながっていることが大事だというコミュニティの話になった。今ここに掲げたものが抽象的なイメージがあるのは、むしろいろいろな意見が入っていて、いろいろな言葉を取り入れたからであり、一見そのように見えるのかもしれないが、皆さんの一つ一つの意見が基になって、今のテーマを設定した。将来を見据えた課題設定は先進的なことであり、春日区ならではの目の付けどころといえる。

【吉田(実)委員】

テーマ②のAとBの違いを教えてください。

【渡邊係長】

資料No.2の「解決策の検討」について、テーマ②-Aは「簡単なゲームを通じた世代間交流事業」、テーマ②-Bは「共通の趣味などを持った人がつながることができるイベントの実施」であり、具体的解決策として楽市楽座などが挙げられている。これは3月に協議する予定。現在は、世代間交流なのか、趣味などでつながれるのかというような意見に分かれているので別の扱いとしているが、最終的に合流することはあり得る。

【田中会長】

他に質問はあるか。

(発言無し)

(各グループに分かれて協議)

【田中会長】

事務局から各グループの協議事項を報告する。

【Aグループ】

上野委員、太田副会長、瀧本委員、原委員、山谷委員、渡部委員

(発表：渡邊係長)

今回、e (e a s y) スポーツ、ウォーキングポイントと具体例も出ているが、ゼロベースで「若い人と高齢者がつながれることは何だろう」と改めて考えてみた。マージャンやカードゲームは、若い人たちに教えればすぐにできるが、子供たちがマージャンをすることに保護者が反対するのであれば、通称「ドンジャラ」と呼ばれる子供向けの絵合わせゲームもある。それと世代によって遊び方が異なるので、前回のe (e a s y) スポーツのように、ゲーム機を使うことで若い人たちと土俵を合わせることもできる。そうしたことを前提にした提案が、春日版のボードゲームやカードゲームを作ってはどうかということ。「謙信公マージャン」ができれば、身近な存在になり、関心が高まるのではないかと。使い方として、賭け事にならないよう、例えばゲームで獲得したポイントをフリーマーケットで使えるようにする。そのフリーマーケットで中学校の制服や体操着の交換に使用でき、他の地域の人が入って来ないようにするなど、地域内でのみ使えるものとする。おやつ代や子供食堂などで使うのであれば適切と考える。ゲーム機離れもくろみ、あえてこのゲームはアナログとし、カードが作成できたら理想的だというアイデアにまとまった。

すぐに結果を出したいが、将来へ向けてのことなので、すぐには出ない。そこが我慢のしどころになる。渡部委員から、すぐに結果を出せるものとして、例えば、「輪投げ」や「ボッチャ」などのとても単純なもの、ルールを聞かなくても誰でもすぐにできるので交流するという、大事な意見をいただいた。誰もが「ちょっとやってみようか」と思えるものはやり方が単純で、ルールをわざわざ覚えなくてもできるものだと考える。

「謙信公マージャン」を提案したが、進めていくとしたら、ポイントとして、単純なもの、誰でもできるものという条件は大切にしたい。

また、「かすがのこどもの家」と町内会館を兼ねる春日野町内会では、子供と高齢者がそれぞれ利用している時間帯や曜日があり、稼働率がとても良いのに交流できていない。そこが同じ施設を利用している人たちで交流する機会を作るヒントにならないか。これは先の運用の話になるが、忘れずにポイントを押さえていければと思う。

【吉田(実)委員】

今は「健康マージャン」が流行っていて、賭け、喫煙、飲酒が禁止されている。新光町町内会では去年から取り組んでいる。また、大豆町内会の老人会が非常に盛んで、月4回程集まり、4卓ぐらいできている。健康的なものなので、子供たちにも勧められる。「謙信公マージャン」も良いが、「健康マージャン」は子供も遊べるので、普及できると思う。

【渡邊係長】

「健康マージャン」については聞いたことはあるが、定義については分からない方も多いと思うので、補足していただきありがたい。

【Bグループ】

市川委員、崎田委員、田邊委員、山田委員、吉田(義)委員

(発表：鈴木主事)

テーマが大きいので、地域の実情が分からないと具体的な解決策を考えるのは難しい。地域に関するデータ、例えば年齢や男女比、空き家の数などを数値化して、それを理解した上で協議した方がより考えやすいのではないかという意見があったほか、さまざまなアイデアを出していただいた。各町内会で綱引き、蕎麦打ち、餅つき等の行事がある中で、Aグループと同様にマージャンが提案された。新光町町内会では日曜日に定期的に楽しまれていることや、専用卓のあるお宅もあるなど、マージャンは身近な存在といえ、また若い世代も楽しんでいるので、世代間交流がしやすいのではないかという意見があった。また、賭け事のようにしないと楽しくないのではないかということで、お菓子や食べ物などを賞品にするという提案もあった。

他にもウォークラリー大会の開催についても意見があった。対象者(誰に)は、小中高生から高齢者まで。実施方法(どうする)は、小学生を何人、中学生を何人というようにグループに分かれて、ポイントを回っていく。各ポイントには、地域協議会委員が作成した春日区に関する問題等を設置し、それをグループで協力して解いていく。ゴール後に答え合わせをし、順位を決め、景品を渡す。場所(どこで)は、総合体育館、春日区全体、春日山などとする。

【Cグループ】

池亀委員、折橋委員、田中会長、本多委員、吉田(実)委員

(発表：村山副所長)

具体的な解決策として、身近で誰でも参加でき、お金がかからないものということで、グラウンド・ゴルフの提案があった。屋内でもできるが、やはり屋外の土や芝生の上で行う方がよいので、時期(いつ)は春から秋まで。実施者(誰が)は、少しずつ普及していて、同好会のほか、木田・岩木・藤巻・藤新田の町内会ではグループができている。対象者(誰に)は全世代。物(何を)は、用具は個人所有のほか、総合体育館で借りられる。実施方法(どうする)は、大会の開催よりも、まずは皆で楽しむところから始め

る。ルールを決めれば一つの用具を皆で使うこともできるので、数量（どれくらい）については、一人でも大人数でもよい。プレイの目安時間は、8ホールを回るのに約1時間かかり、それを2セット行う。経費（いくら）は、用具を一式購入すると約3万円から5万円かかるが、総合体育館で貸し出しているものを使えばお金をかけずに楽しめる。

グラウンド・ゴルフについては、春日区内の一部地域で実施の動きがあるようだが、対象エリアを春日区全体として取り組みたい。

【吉田(実)委員】

Bグループでウォークラリーについての話があったが、違う種目でオリエンテーリングがある。山などにポストという目印を数か所に置き、順序どおりに巡ってゴールまでの所要時間を競うスポーツ。約30年前、謙信公祭の催し物部の役員の時に発案して開催した。約20人集まったが、1回で終わった。上越にオリエンテーリング協会があったが、解散したらしい。地図を販売していた店舗の閉店に伴い、地図の取扱いも中止された。

【渡部委員】

市の老人クラブ連合会主催の輪投げ大会は、大いに盛り上がる。老人会では木曜日に輪投げを、火曜日にボッチャを行っていて、この2つならば子供たちも簡単に遊べる。コミュニケーションづくりのために、大きなことをするのではなく、まずは町内会から始めてはどうか。春日区で輪投げ大会を開催すれば、子供たちと一緒にできるのではないかと。「謙信公マーじゃん」も良いが、段取りやルールの説明が大変だ。一番簡単なのは「輪投げ」だと思う。春日野町内会の大会について、町内会長と相談していたが、諸事情により開催できなくなった。「謙信公マーじゃん」は結果が出るまでにとっても時間がかかる。今すぐ結果が出るものをやっつけていかないとよくないと思う。

【渡邊係長】

資料の「解決策の検討」に、「ポイント（条件）」とある。これは今までの話し合いでも出てきた内容で、「年齢や健康状態等に関わらず、誰もがができること」と「お金がかからず、誰もが集まりやすい環境であること」の2つを掲げてきた。他のテーマでもこのような条件、理念的な文言を整理している。ここを押さえていただくことが、春日流儀ではないか。次回以降もこのポイントを忘れずに押さえていただきたい。

【田中会長】

他に質問、意見はあるか。

(発言無し)

今回の意見を整理して、次回資料として示す。また、今回はテーマ②のBに進む。
以上で次第3 議題「(1) 自主的な審議」の「自主的審議事項について」を終了する。
次に、次第4 その他「(1) 次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

【村山副所長】

- ・ 次回の協議会について説明

— 日程調整 —

- ・ 次回の地域協議会：3月11日（水）午後6時30分から
上越市市民プラザ 第一会議室（予定）

【田中会長】

以上で次第4 その他「(1) 次回開催日程」を終了する。

次に、次第4 その他の「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

(無しの声)

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。